

●生活・法律相談は

- ◆市議会議員 高野 とも (7155)1683
- ◆市議会議員 いぬい紳一郎 (7159)2773
- ◆市議会議員 小田桐たかし (7154)0878
- ◆市議会議員 安西 孝之 (7148)6870
- ◆元市議会議員 若王子博夫 (7159)0861
- ◆元市議会議員 せのお七重 (7146)0691

●サラ金、交通事故、遺産相続、借地借家、教育、医療、年金、住宅、パート労働、介護、その他、困ったこと、わからないこと、どんなことでも気軽ににおよせ下さい。

流山民報

2004年10月
第143号
編集発行人
日本共産党流山市議団
流山市加4-1688
TEL/FAX (7157) 6140
E-Mail:kfbkd645@ybb.ne.jp

市政 国保

アンケートへのご協力 ありがとうございました



市長に台風22号に関する緊急要請を行なう市議団

みなさんの願い実現に

全力で働きます



日本共産党市議団が実施した『市政についてのアンケート』『国民健康保険についてのアンケート』に、多くのみなさんから回答をお寄せいただき、ありがとうございます。「収入は減るばかり」「今後収入は減ると本当に不安なこと」を考えると本当に不安など、市民の暮らしがますます深刻な状況に置かれていることが、明らかになりました。

9月議会ではさっそくみなさんの願いを一般質問や決算審査にいかし、10月7日に行った市長への『平成17年度予算要望』にも反映させ、その実現のために力を尽くしてきています。

国政では、小泉改革による社会保障の連続改悪やイラクへの自衛隊派兵などが進められ、加えて憲法9条の改悪や消費税増税の流れが強まっています。今こそ、住民の暮らしを守るといふ地方自治体の果たすべき役割が問われているのではないのでしょうか。

総額は約847億円（市民一人当たり約56万円）にもなりません。一方で、市民税を払えない人には事情も聞かずに差し押さえ。保育料の引き上げなど市民負担は増やし、高齢者入院見舞金や林間学園費のカットなどサービスは減らし、これでは政治の流れは変わらないと日本共産党は決断に反対しました。

開発優先、市民の暮らしや願いは切り捨て 決算審査

9月議会では、平成15年度の決算審査が行われました。井崎市長による決算は、市民の暮らしと福祉を守るために、莫大な借金をつくり、借金の

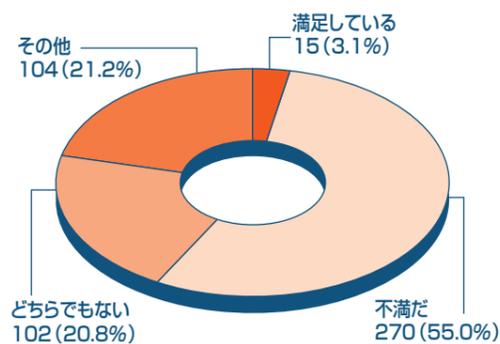
「国保料引き下げて」「介護保険の負担軽減」

の聲がトップ

あなたは市政に何を要望しますか



あなたは市政についてどうお考えですか



	共産党	日本新社会	創成会	公明党	新志会	市民連合	社民・民主党
平成15年度一般会計決算	×	○	○	○	○	×	○
職員採用疑惑に関する百条委員会設置決議	○	×	○	×	×	×	○
保育料の引き下げを求める陳情書	○	×	×	×	×	×	×
郵政事業の改革に関する意見書	×	×	○	○	×	×	×
児童虐待防止対策の充実強化を求める意見書	○	×	○	×	×	○	×

市職員不正採用疑惑にメスを

百条委員会設置の行方

9月議会、職員採用問題の疑惑解明を目的とする百条調査委員会の設置を決める決議案（創成会提案）が提出されました。わが党は質疑と討論を行い、「議会の役割は事実究明と責任を明確にすること」と求めました。しかし、新社会が「市の人事権に議会が立ち入ることは問題」「プライバシーにかかわる」と反対し、多数で否決しました。清潔な市政をどうつくるのか、各党会派の姿勢がいま真剣に問われています。



市議会議員
高野 とも



市議会議員
いぬい 紳一郎



市議会議員
小田 桐たかし



市議会議員
安西 孝之

6億5千万円の入浴施設 市民と共産党の運動で見直しへ

日本共産党の4議席は、流山市議会の中で市民の暮らしを守り、巨大開発のムダ使いを告発し、疑惑・不正の追及に奮闘しています。9月議会では「入浴施設の見直し」など、貴重な成果もあげています。これからも「市民と力を合わせて政治を動かす」をモットーに、ガンバリます。

地域融和施設

地元から見直しを 求める声上がる

「税金のムダ使い」と大問題の入浴施設。市長は、温泉付き施設に見直して建設を推進。5月に入札を強行したものの、不調になっていました。集客予測年間20万人。深夜も営業する計画で、焼却場建設に対する還元施設ではなく、迷惑施設というのが実態です。市政アンケートでも、「このまま継続すべき」は5%。過半数が見直すべきとし、地元の土地改良区から見直しを求める陳情がありました。「6億5千万円の入浴施設はいらない」と市民とともに運動してきた共産党は、9月議会でも、計画をキツパリ見直すよう追求。ようやく流山市も「計画を変更し、12月議会に提案する」と答弁しました。市民世論が、市政を動かしたのです。

10月9日、台風22号が関東地方に上陸し、市内では、床上浸水2棟、床下浸水45棟、道路冠水31箇所、道路通行止め7箇所など、各地で大きな被害を受けました。

台風22号

市内各地で被害 現地調査等おこなう

10月9日、台風22号が関東地方に上陸し、市内では、床上浸水2棟、床下浸水45棟、道路冠水31箇所、道路通行止め7箇所など、各地で大きな被害を受けました。党市議団は、8日夜から、現地調査や住民からの聞き取りを行い、「土のうの後処理をやってほしい」「床上浸水で汚れたカーペットなどを捨てる場合、無料でやってほしい」との声を伺いました。党市議団は15日、市長への緊急要請を行い、水害の被害者救済、再発防止に取り組みしていきます。

国民健康保険

病院窓口での医療費軽減へ 「法律にもとづいて対応」と約束

今年度大幅に値上げされた国民健康保険料。「高すぎて払えない」との声がアンケートでも寄せられています。日本共産党は「流山市の国民健康保険をよくする会」とも連携し、保をよくなる会」とも連携し、国保料の引き下げと制度改善の運動に取り組んでいます。9月議会では、法律で明記されている、病院窓口での医療費軽減制度の実施を迫りました。市はこれまで「考えていない」としてきましたが、ようやく「法律に基づいて対応する」と約束。今後、保険料の減免制度と同様、具体的な基準づくりを求めていきます。

子育て

保育料引き下げ、 学童保育の充実を

『保育料の引き下げを求め陳情書』(市保育所父母会連絡会提出)『たんぼぼ学童クラブ新施設建設に関する陳情書』(たんぼぼ学童クラブ運営委員会提出)が9月議会でも審議されました。保育料については、家計に「重くなっている」と認めながらも、「引き下げは無理」と答弁。反対多数で否決されました。学童保育については、子育て支援の重要な柱と認めつつ、保育環境整備の遅れ、補助金の削減が行われてきました。わが党の質疑で、たんぼぼ学童が過密状況にあること、待機児童がいること、避難経路の確保に問題があることが明らかに。十分な議論が必要と議会で継続審査となりました。

駐輪場

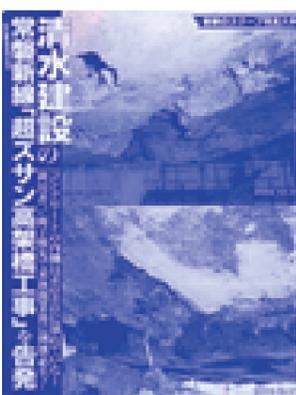
説明ないまま有料化 誰もが安心して利用できる駐輪場を!

南流山駅地下駐輪場のオープンに伴い、同駅周辺の駐輪場が10月から有料化されました。問題はその料金です。他の市内駅周辺の駐輪場は年間3千円ですが、南流山の場合は月千円。「有料化はやむを得ないが、なぜ他より高いのか」「納得いく説明がない」という怒りに対して、市長は利用者の意見さえ聞かないという姿勢です。さらに平成18年4月には他の駐輪場も同様の値上げを予定。自転車は市民の欠かせない足です。誰もが安心して利用できる駐輪場こそ必要です。

新線と沿線巨大開発

新線工事でズサン工事発覚 沿線の区画整理も問題が山積み

来年秋の開業をめざしている常磐新線(つくばエクスプレス)。しかし、つくば市萱丸高架橋工事、南千住駅工事でズサンな工事が発覚、週刊誌に連続報道されました。9月議会では、人命尊重・6年延びることに。その分、借入金と利子が増え、税金投入が必至の事態です。いまこそ、市民の目線に立った事業の見直しが必要ではないでしょうか。



ズサン工事を報じる「FLASH」